

# 数学ⅡB 標準問題精講 解説

P291 | 標問129

---

## ・借金に利子がかけられる

もしあなたが年利率10%で100万円を借りたとすると、1年後には100万円に加え、その10%の10万円を合わせた110万円を借金していることとなります。・・・(★)

さらに1年後は、110万円に加え、その10%である11万円を合わせた121万円を借金していることとなります。

・・・

というのが、いわゆる雪だるま式に増えていくとまずいことになるのです。しかし、もし返済をしたら、借金している金額に対して利子がかかります。

例えば、さきほどの1年後の状態(★)になったあと、次の1年間で60万円返済したとします。すると、新たな借金は、 $110万円 - 60万円 = 50万円$ の借金と、その利子である $50万円 \times 10\% = 5万円$ が加わった55万円が、借金となります。

このように、「借金の全額」から「その年に返済した額」を引いた「残金」に対して、利子が増えられたのが次の年の借金となります。

このような仕組みになっているということがわかれば、解説の内容もわかるはずです。

---